

講義内容

2時間 40分

講義 1 : ISO14001 箇条 4 まで	18 分
講義 2 : ISO14001 箇条 5~6	23 分
講義 3 : ISO14001 箇条 7~8	21 分
講義 4 : ISO14001 箇条 9~10	22 分
講義 5 : 監査の原則	12 分
講義 6 : 監査技術 1~3	34 分
講義 7 : 監査技術 4~6	27 分

※ 講義 1～4 は
ISO14001 : 2015 要求事項テキストをご活用ください

講義 1 : ISO14001 箇条 4 まで

18 分

頁 NO.

ISO14001:2015 の解説	2
ISO14001 の PDCA モデル	3
ISO14001:2015 の構成	4
箇条 4 組織の状況	8
4.1 組織及びその状況の理解	9
外部・内部の課題の例	10
4.2 利害関係者のニーズ及び期待の理解	11
利害関係者の要求事項の例	12
4.3 環境マネジメントシステムの適用範囲の決定	13
4.4 環境マネジメントシステム及びそのプロセス	14

講義 2 : ISO14001 箇条 5

23 分

頁 NO.

箇条 5 リーダーシップ	1
5.1 リーダーシップ及びコミットメント	2
5.2 環境方針	3
5.3 組織の役割、責任及び権限	5
箇条 6 計画	6
6.1 リスク及び機会への取組み 6.1.1 一般	7
環境側面に関するリスク及び機会の例	10
課題のリスク及び機会への対応計画の例	15
6.2 環境目標及びそれを達成するための計画策定 6.2.1 環境目標	16

講義 3 : ISO14001 箇条 7 ~ 8	21 分	頁 NO.
箇条 7 支援		1
7.1 資源		2
7.2 力量		3
7.3 認識		4
7.4 コミュニケーション 7.4.1 一般		5
7.5 文書化した情報 7.5.1 一般		9
箇条 8 運用		12
8.1 運用の計画及び管理		13
8.2 緊急事態への準備及び対応		15

講義 4 : ISO14001 箇条 9 ~ 10	22 分	頁 NO.
箇条 9 パフォーマンス評価		1
9.1 監視、測定、分析及び評価 9.1.1 一般		2
環境パフォーマンスに関する指標		4
ECI の例 (大気)		5
MPI の例 (方針及びプログラムの実施)		6
OPI の例 (エネルギー)		8
OPI の例 (廃棄物)		9
9.2 内部監査 9.2.1 一般		11
9.3 マネジメントレビュー		13
箇条 10 改善		15
10.1 一般		16
10.2 不適合及び是正処置		17
10.3 継続的改善		18

講義 5 : 監査の原則	12 分	頁 NO.
監査プログラムのマネジメントのためのプロセスフロー		2
監査の仕組み		3
監査の原則 a) 高潔さ		5
b) 公正な報告		6
c) 専門家としての正当な注意		7
d) 機密保持		8
e) 独立性		9

f) 証拠に基づくアプローチ	10
g) リスクに基づくアプローチ	11

講義 6 : 監査技術 1~3

34分

頁 NO.

内部監査員の監査技術 1~6	2
1. 観察技術	3
ISO19011 6.4.7 情報の収集及び検証	5
2. サンプルング技術	7
サンプル選定時の注意事項	8
サンプル選定の事例	9
ISO19011 A.6.1 一般	10
A.6.2 判断に基づくサンプルング	12
3. 質問技術	13
1) 文書化されている手順の監査方法	14
2) 文書化されていない手順の監査方法	15
3) 質問の仕方	16
活動状況に関する確認方法の例	19
ISO19011 6.3 監査活動の準備 6.3.1 文書化した情報のレビューの実施	20
6.3.4 監査のための文書化した情報の作成	22
チェックリストの作成の考え方	23
内部監査プロセスを監査する際のチェックリストの事例	24
チェックシートの作成方法	25

講義 7 : 監査技術 4-6

27分

頁 NO.

4. 評価技術	2
5. 記録技術	3
ISO19011 6.4.8 監査所見の作成	5
ISO19011 A.18.1 監査所見の決定	6
A.18.2 適合の記録 A.18.3 不適合の記録	7
A.18.4 複数の基準に係る所見への対応	8
監査所見の作成	9
監査所見のポイント	15
6. 有効性評価技術	16
プロセスの評価方法	18

プロセスの有効性評価	19
プロセスの有効性評価の例	20
EMS の有効性評価	21
EMS の有効性評価の例	22
有効性評価の進め方	23
まとめ	25